

この度は弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。ご使用前にこの説明書をよくお読みの上、正しくご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。なお、この説明書はお手元に保管し、必要に応じてご覧ください。

※金属バンドの調整は、お買い上げ店にご依頼ください。ご贈答、ご転居などにより、お買い上げ店での調整が受けられない場合は、弊社お客様相談窓口へご依頼ください。お買い上げ店以外では有料もしくはお取扱いいただけない場合があります。

※お買い上げ時の電池は、機能や性能を検査するための電池(モニター電池)です。保証期間内でも電池交換は無料となります。

※商品に傷防止用の保護シールがはられている場合があります。必ずはがしてお使いください。はられたままにしておくと、汚れ、汗、ゴミ、水分などが付着してさび発生の原因となります。

■特徴

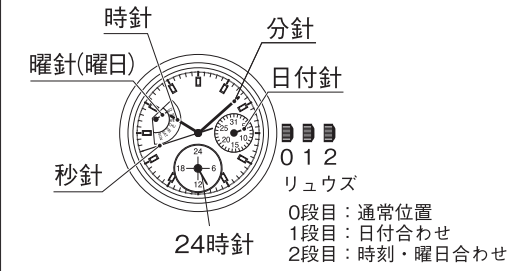
5Y66/5Y67/VD74/VD84：時刻表示+24時間表示+日付針+曜日針タイプ
VD77：時刻表示+24時間表示
VD78：時刻表示タイプ
VD72/VD73：時刻表示+日付針タイプ
VD75/VD76/VD79/VD85/VD86/VD87：時刻表示+日付針+曜日針タイプ

※曜日の窓には
丸型：VD74/VD75/VD76/VD79
原型：5Y66/5Y67/VD84/VD85/VD86/VD87
の2種類がありますが、操作方法は同じです。

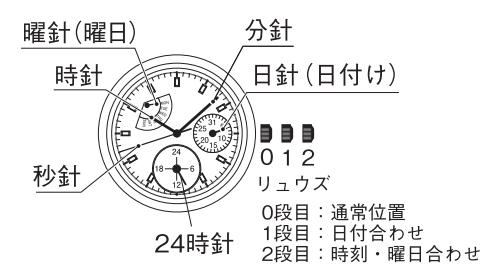
※曜日を示す曜日針には、修正機構がありませんので、時間合わせの際、時・分針を回して合わせることにあります。→**■ご使用方法**をご参照ください。

■各部の名称とはたらき

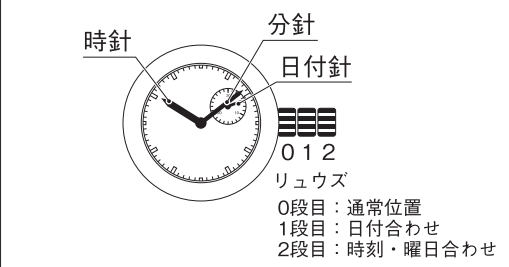
●5Y66



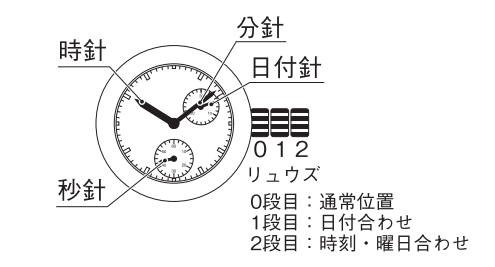
●5Y67



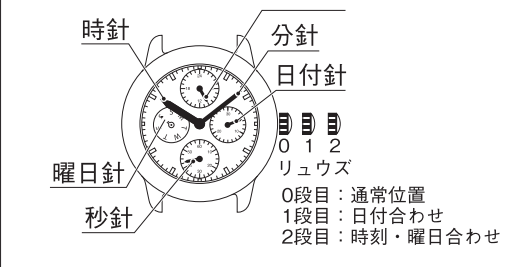
●VD72



●VD73



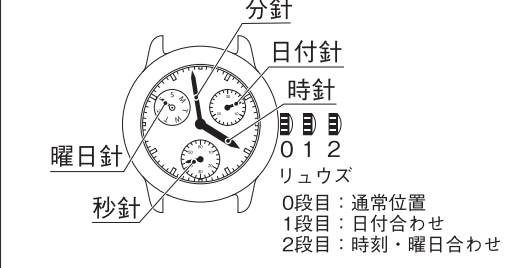
●VD74



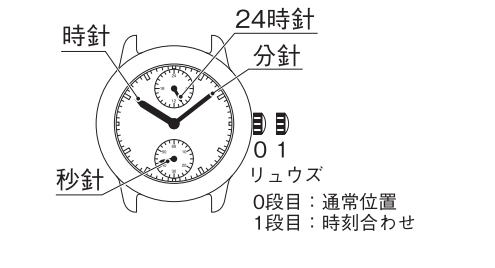
●VD75



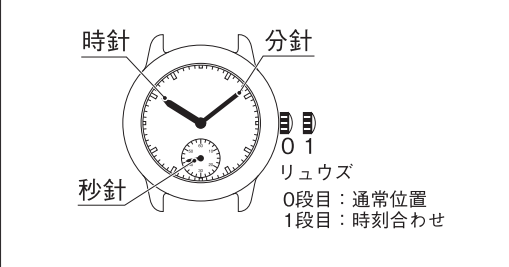
●VD76



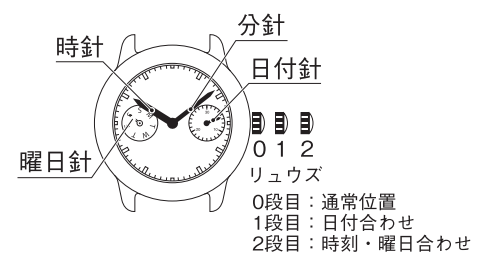
●VD77



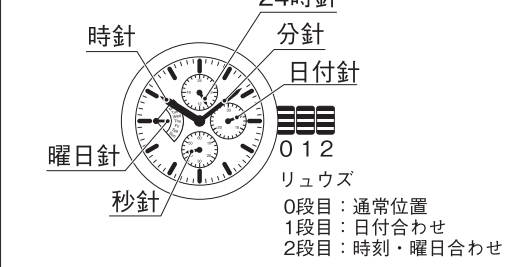
●VD78



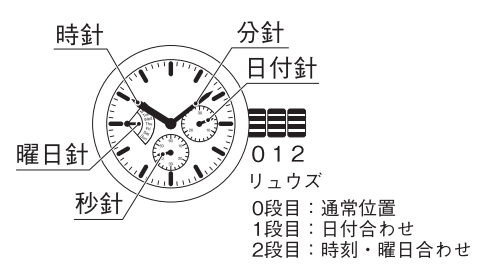
●VD79



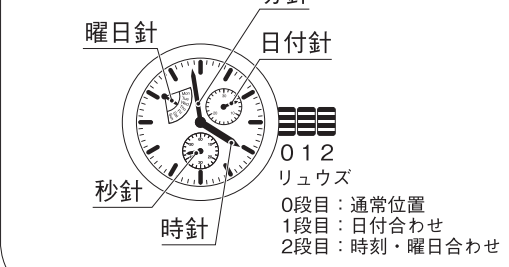
●VD84



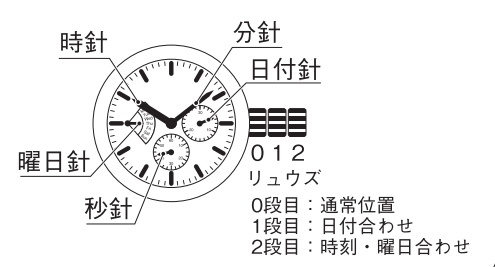
●VD85



●VD86



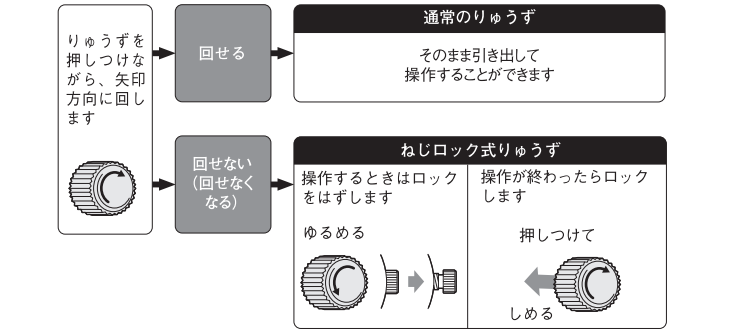
●VD87



■りゅうずについて

りゅうずには、通常のものと同様のもの、2つのタイプがあります。

お使いの時計のりゅうずをご確認ください。



※ねじロック式りゅうずは、ロックすることで、誤動作の防止と防水性の向上をはかることができます。

※ねじロック式りゅうずは、ねじを無理にしめるとねじ部をこすおそれがありますので、ご注意ください。

■ご使用方法

●曜日の合わせかたと時刻の合わせかた

曜日を示す曜日針には修正機構がありませんので、時刻合わせの際、時・分針を回して曜日を合わせることはじめます。

①秒針が12時位置(0秒)に来たときにりゅうずを2段目まで引き出します。時計が止まります。

※機種により、曜日表示がない場合があります。



②りゅうずを右に回し、時・分針を進めます。

午前0時を通過すると、曜日針が動き始めます。

曜日針が次の曜日を指し示すまでさらに時・分針を進めてください。

曜日針をさらに送る必要がある場合は、時・分針を4〜5時間分戻してから、再び進み方向に回すと、曜日針を早送りすることができます。

これを繰り返して、曜日を合せてください。(午後11時ごろ〜午前4時ごろを往復して合ませます)

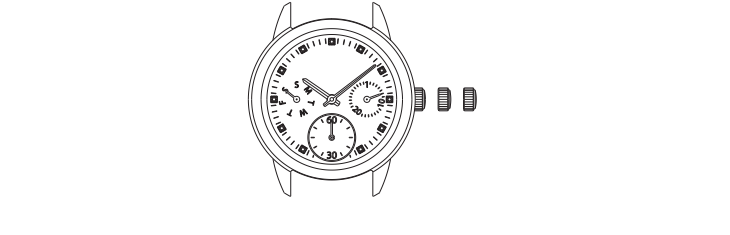


③曜日を合わせたら、時刻を合させます。24時針があるタイプは、午前・午後を間違えないように合せてください。

※午前午後を間違えないように、合せてください。(日付け・曜日は24時間に1度変わるように設計されています)

※正確に合わせるためには、分針を正しい時刻より4〜5分進めてから逆に戻して合せてください。

※時刻合わせには、電話時報サービス117が便利です。



④合せた時刻の時報を待ち、時報と同時にりゅうずを押し込んでください。

●日付の合わせかた

時刻合わせ後、日付けを合わせ直すとき。

前月が小の月(1ヵ月の日数が30日の月と2月)で月初の日付けの修正のときに行ないます。

①りゅうずを1段目に引き出してください。

②りゅうずを右に回して日付けを合せてください。

※日針の動きを確認するように静かにりゅうずを回してください。

※時計の針が午後9時〜午前1時にあるときには、日付け合わせをしないでください。

合わせができなかったり、合わせても次の日に日付が変わらないことがあります。



③合わせ終わったら、りゅうずを押し込んでください。

■製品の仕様

- 1.水素振動数…………… 32,768Hz
- 2.時間精度…………… 平均月差±20秒
※5℃〜35℃において腕につけた場合
- 3.作動温度範囲…………… −5℃〜+50℃
- 4.駆動方式…………… ステップモーター式
- 5.使用電池…………… 小型酸化銀電池1個
5Y66/5Y67：SB-AN (SR920SW)
その他：SB-AW (SR626SW)
- 6.電池寿命…………… 約3年
- 7.電子回路…………… 発振、分周、駆動回路(C-MOS-IC)：1個

※上記の製品仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

■使用上の注意とお手入れについて

⚠警告


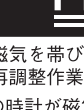
- ・次のような場合、ご使用を中止してください。
 - 時計本体やバンドが腐食などにより鋭利になった場合
 - バンドのピンが飛び出してきた場合
- ※さらに、お買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご連絡ください。
- ・乳幼児の手の届くところに、時計本体や部品を置かないでください。
- 部品や電池を乳幼児が飲み込んでしまうおそれがあります。
- 万が一飲み込んだ場合は、身体に害があるため、ただちに医師にご相談ください。
- ・電池の交換には専門知識・技能が必要ですので、お買い上げ店にご依頼ください。
- 電池は充電しないでください。破裂・発熱・液漏れ・破損などのおそれがあります。
- ・この時計はスクューバダイビングや飽和潜水には絶対に使用しないでください。
- スクューバダイビングや飽和潜水用の時計に必要とされる過酷な環境を想定した様々な厳しい検査を行っていません。専用のダイバースウォッチをご使用ください。

⚠注意

- ・以下の場所での携帯・保管は避けてください。
 - 揮発性の薬品が発散しているところ(除光液などの化粧品、防虫剤、シンナーなど)
 - 5℃〜35℃から外れる温度に長期間など
 - 高温など
 - 磁気や静電気の影があるところ
 - ホコリの多いところ
 - 強い振動のあるところ
- ※電池式の場合は、電池が切れた状態で長時間放置しないでください。電池が漏液するおそれがあります。
- ・アレルギーやかぶれを起こした場合はただちに時計の使用をやめ、皮膚科など専門医にご相談ください。
- ・直接蛇口から水をつけることは避けてください。
- 水道水は非常に水圧が高く、日常生活用強化防水の時計でも防水不良になるおそれがあります。
- ・水分のついたまま、りゅうずやボタンを操作しないでください。
- 時計内部に水分が入ることがあります。
- ※万が一、ガラス内面にくもりや水滴が発生し、長時間消えない場合は防水不良です。
- お早めにお買い上げ店・弊社お客様相談窓口にご相談ください。
- ・水や汗、汚れが付着したままにしておくのは避けてください。
- 防水時計でもガラスの接着面・パッキンの劣化やステンレスがさびることにより、防水不良になるおそれがあります。
- ・入浴やサウナの際はご使用を避けてください。
- 蒸気や石けん、温泉の成分などが防水性能の劣化を早めることがあります。
- ・その他のご注意
 - 商品の分解・改造はしないでください。
 - 乳幼児に時計が触れないようにご注意ください。ケガやアレルギーをひき起こすおそれがあります。
 - 使用済み電池の処理は自治体の指示に従ってください。
 - 提げ時計やペンダント時計の場合、ひもやチェーンの取り扱いにご注意ください。
 - 衣類や手、首などを傷つけたり、首を締めたりするおそれがあります。

●耐磁性能について(磁気の影響)

- ・この時計は、身近にある磁気の影響を受け、時刻が狂ったり止まったりします。

裏ふた表示	お取扱方法
耐磁性能表示なし	磁気性能より10 cm以上遠ざける必要があります。
	磁気性能より5 cm以上遠ざける必要があります。(JIS1種)
	磁気性能より1 cm以上遠ざける必要があります。(JIS2種)

磁気を帯びたことが原因で、携帯使用時の精度めやす範囲を超えている場合、磁気除去および精度の再調整作業は、保証期間にかかわらず有料とさせていただきます。

この時計が磁気の影響を受ける理由

内蔵されているモーターは磁石を使用しており、外からの強い磁気の影響を受けます。



●お手入れについて

- ・日ごろからこまめにお手入れしてください。
- ・りゅうずを引き出して洗わないでください。
- ・水分や汗、汚れはこまめに柔らかい布でふき取るように心がけてください。
- ・海水につけた後は、必ず真水でよく洗ってからふき取ってください。その際、直接蛇口から水かけを避け、容器に水をためるなどしてから洗ってください。※非防水・日常生活防水の場合はおやめください。
- りゅうずは時々回してください。
- ・りゅうずのさびつきを防止するために、時々りゅうずを回してください。
- ねじロック式りゅうずの場合も同様です。

●防水性能について

お買い上げいただいた時計の防水性能を下記の表でご確認の上ご使用ください。

裏ふた表示	防水性能	お取扱方法
防水性能表示なし	非防水です。	水滴がかかったり、汗を多くかく場合には、使用しないで下さい。
WATER RESISTANT	日常生活用防水です。	日常生活での「水がかかる」程度の環境であれば使用できます。⚠警告 水泳には使用しないで下さい。
WATER RESISTANT 5 BAR	日常生活用強化防水で5気圧防水です。	水泳などのスポーツに使用できます。
WATER RESISTANT 10(20) BAR	日常生活用強化防水で10(20)気圧防水です。	空気をボンベを使用しないスキューバダイビングに使用できます。

●バンドについて

バンドは直接肌に触れ、汗やほこりで汚れます。そのため、お手入れが悪いとバンドが早く傷んだり、肌のかぶれ・そで口の汚れなどの原因になります。

長くお使いになるためには、こまめなお手入れが必要です。

金属バンド

- ・ステンレスバンドも水や汗・汚れをそのままにしておくと、さびやすくなります。
- ・手入れが悪いと、かぶれやワイシャツのそで口が黄色や金色に汚れる原因になります。
- ・水や汗・汚れは、早めに柔らかな布でふき取ってください。
- ・バンドのすき間の汚れは、水で洗い、柔らかな歯ブラシなどで取り除いてください。(時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)残った水分は柔らかな布でふき取ってください。
- ・チタンバンドでも、ピン類には強度に優れたステンレスが使用されているものがあり、ステンレスからさびが発生することがあります。
- ・さびが進行すると、ピンの飛び出しや抜けが発生し、時計を脱落させてしまうことがあります。また、逆に中留が外れなくなることがあります。
- ・万が一、ピンが飛び出している場合は、怪我をするおそれがありますので、ただちに使用をやめて修理をご依頼ください。

皮革バンド

- ・水や汗、直射日光に弱く、色落ちや劣化の原因になります。
- ・水がかかったときや汗をかけた後は、すぐに乾いた布などで、吸い取るように軽くふいてください。
- ・直接日光にあたる場所には放置しないでください。
- ・色の薄いバンドは、汚れが目立ちやすいので、ご使用の際はご注意ください。
- ・時計本体が日常生活用強化防水10(20)気圧防水になっているものでも、アクアフリーバンド以外の皮革バンドは、水泳・水仕事などでのご使用はお控えください。

ポリウレタンバンド

- ・光で色があせたり、溶剤や空気中の湿気などにより劣化する性質があります。
- ・特に半透明や白色・淡い色のバンドは、他の色を吸着しやすく、また変色をおこします。
- ・汚れたら水で洗い、乾いた布でよくふき取ってください。
- (時計本体は水にぬれないように、台所用ラップなどで保護しておきましょう。)
- ・弾力性がなくなったら取り換えてください。そのまま使い続けるとひび割れが生じバンドが切れやすくなります。

かぶれやアレルギーについて

バンドによるかぶれは、金属や皮革が原因となるアレルギー反応や、汚れ、もしくはバンドとのすれなどの不快感の原因となる場合など、いろいろな発生原因があります。

バンドサイズのみやすについて

バンドは多少余裕をもたせ、通気性をよくしてご使用ください。

時計をつけた状態で、指一本入る程度が適当です。

■ルミブライトについて

●お買い上げの時計がルミブライトつきの場合

ルミブライトは、太陽光や照明のあかりを短時間(約10分間:500ルクス以上)で吸収して蓄え、暗い中で長時間(約3時間〜5時間)発光します。光が当たらなくなってから輝度(明るさ)は、時間の経過とともに弱まります。

なお、光を蓄える際の光の強さや光の吸収度合いとルミブライトの面積によって、発光する時間や見え方に差が生じます。

※一般的には明るい所から暗い所へ入った場合、人の目はすぐに順応しません。初めはものが見にくいですが、時間の経過と共に見やすくなってきます。(目の暗順応)

※ルミブライトは、放射能などの有害物質をまったく含んでいない環境・人に安全な蓄光(蓄えた光を放出する)塗料です。

環 境	明るさ(照度)のみやす	
	晴れ	100,000 ルクス
太陽光	くもり	10,000 ルクス
	晴れ	3,000 ルクス以上
屋内(昼間窓際)	くもり	1,000 ~ 3,000 ルクス
	雨	1,000 ルクス以下
照明 (白色蛍光灯40Wの下で)	1m	1,000 ルクス
	3m	500 ルクス(通常室内レベル)
	4m	250 ルクス

■アフターサービスについて

●保証と修理について

- ・修理や点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際は、お買い上げ店、または弊社お客様相談窓口にご依頼ください。
- ・保証期間内に不具合が生じた場合は、必ず保証書を添えてお買い上げ店へお持ちください。
- ・保証内容は保証書に記載したとおりです。
- 保証書をよくお読みいただき、大切に保管してください。
- ・保証期間終了後については、修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料修理させていただきます。

●補修用性能部品について

- ・この時計の補修用性能部品の保有期間は、通常7年を基準としています。補修用性能部品とは、時計の機能を維持するために必要な修理用部品です。
- ・修理の際、外観の異なる代替部品を使用させていただくことがあります。また、ケースやバンドの一式交換や、修理が困難な場合は同等品との交換になる場合もありますので、あらかじめご了承ください。

●点検調整のための分解掃除(オーバーホール)について

- ・長くご愛用いただくために、3年〜4年に1度程度の点検調整のための分解掃除(オーバーホール)をおすすめします。ご使用状況によっては、機械の保油状態が損なわれたり、油の汚れなどによって部品が磨耗し、止まりにいたることがあります。またパッキンなどの部品の劣化が進み、汗や水分の侵入などで防水性能が損なわれる場合があります。
- 点検調整のための分解掃除(オーバーホール)は「純正品」とご指定の上、お買い上げ店にご依頼ください。その際、パッキンやばね棒の交換もあわせてご依頼ください。
- ・点検調整のための分解掃除(オーバーホール)の際には、ムーブメント交換となる場合もあります。